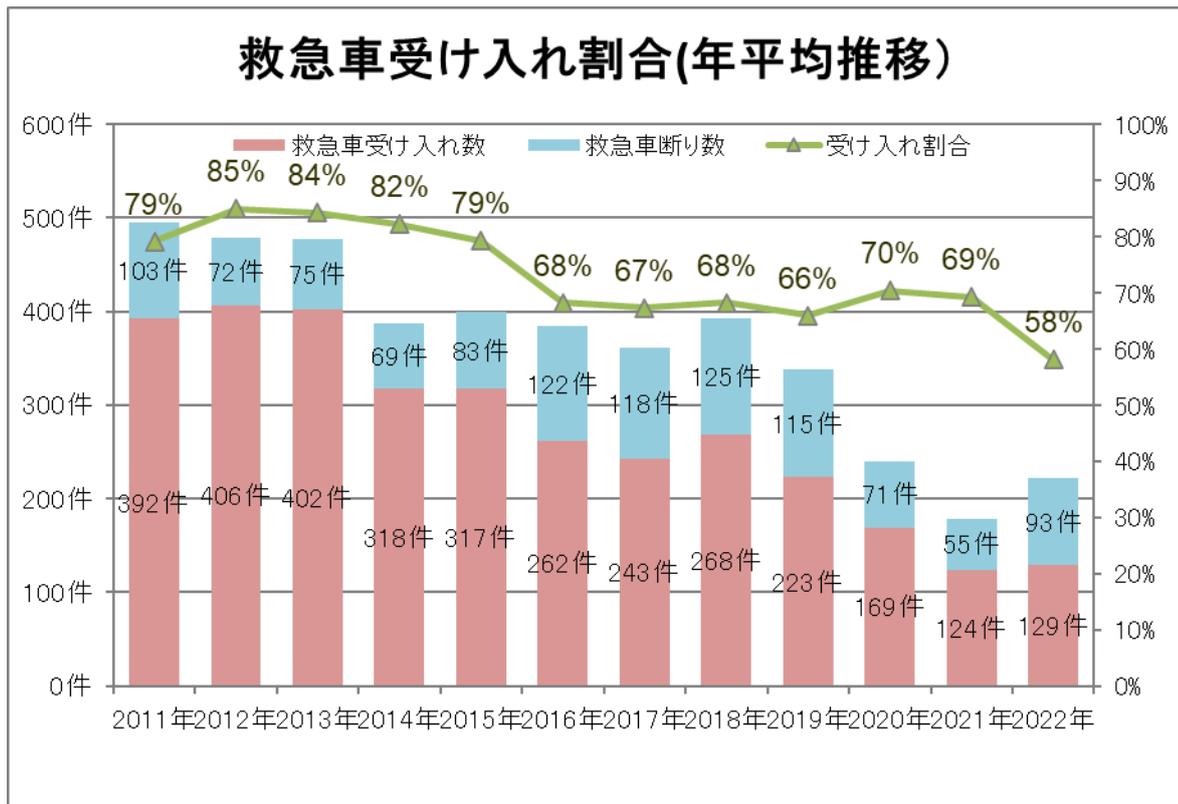




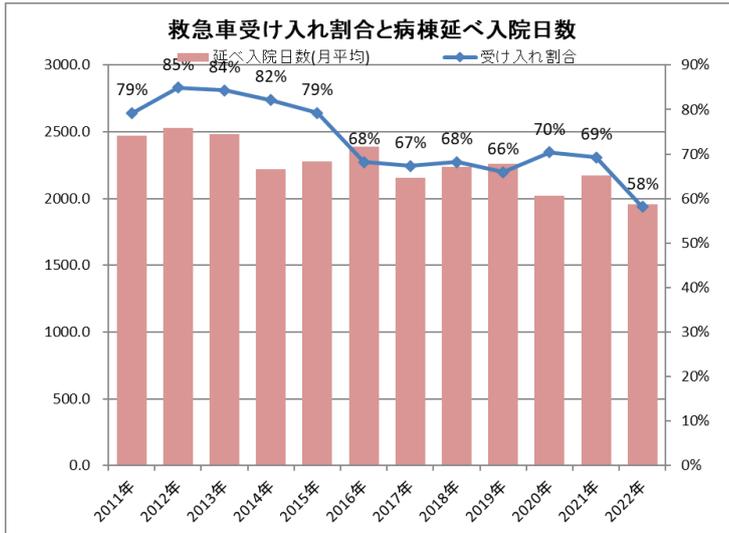
2014年10月の回復期リハ病棟開設以降、一般急性期病棟半減により受入可能な病床数が大幅に減少しましたが、「地域からの要請を断らない」を合い言葉に積極的受入に取り組んできました。

救急車受入割合

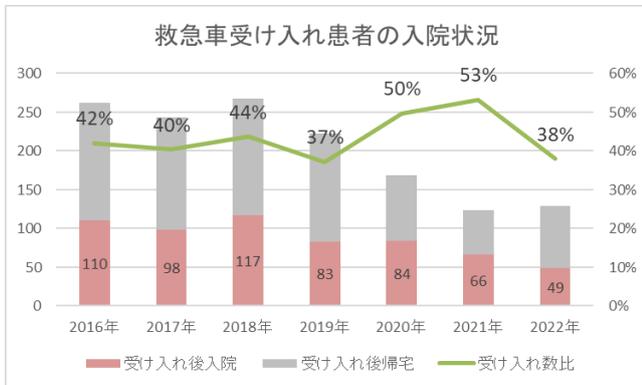
分子	内、受入件数
分母	救急車要請件数
表示:	%



2022年は受け入れ件数は124件⇒129件に増加しましたが、要請数に対する受け入れ割合は69%⇒58%に減少しました。周辺地域内の救急受け入れ医療機関の新型コロナウイルス院内感染等の理由により、要請件数が増加したことが原因と予想されます。



当院のベッド稼働率の影響を検討する指標として、病棟延べ入院日数と救急受け入れ割合を比較すると、2022年は入院延べ日数とともに減少していました。



救急受け入れ患者の入院状況を見ると、受け入れ後入院割合は53%⇒38%に減少していました。受け入れ後入院の病棟延べ入院日数比でも、減少していました。2022年の減少は、一般急性期病棟に新型コロナウイルス対応病床を確保したことで、救急受け入れベッド数が減少したことが影響していることが予想されます。